



金メダリスト具志堅幸司さんが指導 11/1  
「日体大プレミアム授業」を実施

日本体育大学の指導者を招いた「プレミアム授業」が、横見、見能林小学校で行われました。授業では、ロサンゼルス・オリンピックの金メダリストで同大学副学長の具志堅幸司さんが、児童にとび箱やマット運動などを直接指導しました。阿南市と日体大は、市民の健康づくりや学校教育への支援のため、「体育・スポーツ振興に関する協定」を締結しています。

11/1 モンゴル歌舞団が公演  
草原の音色に酔う

阿南市合併10周年記念公演のモンゴル歌舞団「しあわせへの道」が、コスモホールで行われました。世界無形文化遺産のモンゴル伝統音楽と舞踊が織りなす音色に、会場を埋めつくした約600人の観客は、うっとりとし耳を傾けました。阿南市とモンゴル国は、旧那賀川町時代から続く野球を通じた交流で、強く結ばれています。



水道事業審議会から答申 10/12

「阿南市水道料金改定の件」について、阿南市水道事業審議会（会長：上月康則さん 徳島大学大学院教授）から岩浅市長に「老朽化した配水管の耐震化など建設改良を行いながら、健全経営を維持するためにも25パーセント前後の料金改定はやむを得ない」との答申がありました。同審議会は、7月29日に市長から諮問を受け、これまで3回の審議を行ってきました。

10/19 「伝統黒米 弥生紫」が  
究極の逸品に選ばれる

「なかがわ野菊の里」（代表：新居義治さん）の「伝統黒米 弥生紫」が、「フード・アクション・ニッポンアワード2016」で受賞10産品に選定されました。本賞は、農林水産省が主催する、国産農林水産物の事業者・団体などの優れた取組を表彰するものです。全国から1,008産品の応募の中から、究極の逸品10産品が最終審査会で選ばれました。



学習の成果を披露 11/2  
「きて、みて、ふれあい祭」を開催

適応指導教室ふれあい学級の祭典「きて、みて、ふれあい祭」が、阿南社会福祉会館で開催されました。児童・生徒の学習の成果が披露されたほか、中西康富さんの腹話術やサーティグラスボーイズの人権コンサートも行われ、訪れた人々は心のこもった催しを楽しみました。ふれあい学級は、児童・生徒が学校復帰や自己実現をめざして、学習や体験活動を行っています。



自慢の歌声を披露 10/23  
「NHKのど自慢」が開催される

阿南市合併10周年を記念して「NHKのど自慢」の公開放送が、市民会館で行われました。250組の中から予選を勝ち抜いた20組が、自慢の歌声を披露。約900人の来場者から拍手や歓声が送られました。チャンピオンに輝いた西條愛実さん（21歳・宝田町）は「私が選ばれるなんて驚きました。また開催されるときもチャンピオンを狙いたいです」と喜びを語りました。

11/7 相互に特産品をPR  
泉佐野市と協定を締結

両市の特産品について相互の地域から広く情報を発信していこうと、本市と泉佐野市（大阪府）は「特産品相互取扱協定」を締結しました。関西国際空港が立地する同市は、外国人観光客向けの観光案内所や特産品販売などを積極的に展開中。この協定は、本市の魅力の世界へPRできる機会になると期待されています。また、9日には同市観光協会が本市を視察に訪れました。



10/24 中小企業を社会全体で支援

阿南市の中小企業の持続的な発展を図るため、「阿南市中小企業振興基本条例」の策定委員会が開催されました。中小企業を社会全体で支援できるよう条例の策定を進めるもので、平成29年度内の制定をめざします。また、11月4日には、地域経済活性化策エコノミックガーデニング研究の第一人者である拓殖大学教授の山本尚史さんを招いた講演会が開催されました。

